

先生各位

No. 21-31  
2021年6月

## 新規受託項目のお知らせ

謹啓 時下ますますご清祥のこととお慶び申し上げます。  
平素は格別のお引き立てを賜り、誠にありがとうございます。  
このたび下記の検査項目につきまして受託を開始することになりましたのでご案内申し上げます。  
今後とも変わらぬご愛顧のほど、よろしくお願い申し上げます。 謹白

### 記

● 新規受託開始日 2021年7月1日（木）受付分より

● 新規受託項目

項目コード	検査項目 JLAC10	検体量 (mL)	容器	保存 (安定性)	所要 日数	実施料 判断料	検査方法	基準値
3526	インターロイキン-6 (IL-6) 5J130-0000-023-053	0.5	1	(分離後) 凍結	3~4	170 *1 (生化Ⅱ)	ECLIA	7.0以下 *2 (pg/mL)

\*2 **重症度判定の参考カットオフ値：100pg/mL**

<注>高用量のビオチンを投与・摂取している場合、偽低値になる可能性がありますので、  
8時間以上空けて採血してください。

### <インターロイキン-6 (IL-6) >

**救急搬送または集中治療時において、炎症および臓器障害の重症度判定に有用な検査です。**

インターロイキン-6 (IL-6) は炎症性サイトカインの一種で、感染症、外傷および自己免疫性疾患などで上昇します。全身のさまざまな部位における免疫応答を活性化させ、過剰に産生されるとサイトカインストームを生じ、多臓器障害を誘発します。

本項目の測定試薬は、新型コロナウイルス感染症 (COVID-19) において人工呼吸に伴う挿管の必要性を判断することを目的として、2020年5月に米食品医薬品局の緊急使用許可 (EUA) を取得しています。本邦においては、救急搬送された患者、集中治療を要する患者又は集中治療管理下の患者の重症度判定の補助を目的として、血中のIL-6を測定する体外診断用医薬品として承認されています。

2021年1月より全身性炎症反応症候群の重症度判定に有用として保険適用となりました。救急・集中治療におけるCOVID-19の重症度判定への活用が期待されます。

\*1 (保険留意事項)

全身性炎症反応症候群の患者(疑われる患者を含む)の重症度判定の補助を目的として、ECLIA法により血清又は血漿中のインターロイキン-6(IL-6)を測定した場合は、本区分の「31」副甲状腺ホルモン(PTH)の所定点数を準用して、一連の治療につき2回に限り算定する。なお、本検査を実施した年月日を診療報酬明細書に記載すること。また、医学的な必要性から一連の治療につき3回以上算定する場においては、その詳細な理由を診療報酬明細書の摘要欄に記載すること。